

えずこホール イベント案内

音楽×アート
～奇跡の響宴～
えずこアートセッション
沖仁 × さとうたけし

7/16 [水] 一般 4,000円
19時00分開演 U-24 2,000円
フラメンコギター世界大会で日本人として初の優勝を果たしたフラメンコギターの先駆者沖仁。大河原町出身でペイントローラーだけで絵を描く「ローラーアート」で世界中を魅了する画家さとうたけし。2人による音楽×アートの奇跡の響宴。2人が織りなす世界基準のパフォーマンスをぜひご覧ください。

えずこ男声合唱団 定期演奏会19th

6/22 [日] 13時30分開演
入場無料 ※小さなお子様もご入場いただけます。

えずこギター・トアンサンプル 第22回定期演奏会

6/29 [日] 13時30分開演
入場無料 ※小さなお子様もご入場いただけます。

えずっこひろば
～親子で楽しむ遊びの場所～

6/20 [金] 10:00～12:00
会場:ホワイエ 参加:無料
(出入り自由/申し込みの必要はありません)

えずこホール
仙馬芸術文化センター
TEL 0224-52-3004
〒989-1267 柴田郡大河原町字小島1-1
URL: <http://www.ezuko.com/>
info@ezuko.com

深い学びを実現する算数科の授業づくり

大河原小学校は、令和2年度から令和4年度の3年間、宮城県教育委員会指定学力向上研究指定校事業を受けて、子供たちが主体的に学ぶ算数科の授業づくりに取り組みました。この流れを引き継ぎ、令和5・6年度も継続して算数科の授業研究を続けてきました。今年度も、算数科に焦点を絞って、子供たち同士が対話的に学ぶことを通して深い学びを実現する授業づくりについて研究していきます。今年度の研究の成果は、昨年度同様に1月に自主公開研究会を行い、県内各地の先生方にご覧いただく予定です。

普段の授業の中で、子供たち同士の対話を通して思考力、判断力、表現力等を互いに高め合う実践をしていくことが大切であると考えています。また、算数科を中心に研究をしていますが、すべて



▲ 授業で対話的に学ぶ子供たち

心を一つに ～修学旅行～

「マナーを考え、ルールを守り楽しい思い出を作る」というテーマのもと、4月下旬に3学年全員で修学旅行に行ってきました。初日は、国会議事堂・東京スカイツリーを見学した後、劇団四季のミュージカルを鑑賞しました。ミュージカルの壮大な世界観、舞台空間を作り出している巧みな技術に圧倒され、本物を鑑賞することのでられる感動を胸いっぱい味わいました。

2日目は、7班に分かれて班別研修を行った後、東京ディズニーシーを満喫し、仲間と協力することの大切さと、友人の頼もしさを新たに感じながら、絆を深めてきました。

最終日は、そなエリア東京で防災についての理解と日頃の備えの大切さを改めて学びました。一人一人がテーマを意識し、行動することを心掛け、最高の3日間を過ごすことができました。



間を過ごして全員が笑顔で帰ってきました。

現在、今回の修学旅行を通しての学びを振り返り、多くの方々に最高の3日間の成果をお伝えできるようにと、10月の金中祭での発表を目標にまとめ活動を行っています。

大河原小学校

金ヶ瀬中学校

大河原町第3次健康増進計画・第3期食育推進計画・第2期自殺対策計画を策定しました

地域ぐるみで健康づくりに取り組み、いつまでも元気に暮らせるまち
～ここからだも社会も健康な“Well-being”なまちの実現を目指して～

地域ぐるみで健康づくりに取り組み、いつまでも元気に暮らせるまち、心身と社会が健康で幸福な状態が継続する“**Well-being**”なまちの実現を目指し、「第3次健康増進計画」、「第3期食育推進計画」、「第2期自殺対策計画」を一体的に策定し、令和7年度から令和18年度までの12年間、効果的に健康づくりを推進します。



第3次健康増進計画

【大河原町の健康の現状】(出典:宮城県「データからみたみやぎの健康」)

○健康寿命は、男女ともに宮城県より高い値で推移し、不健康な期間は男女ともに縮小

健康寿命は、男性が80.91歳、女性が84.71歳となっています。平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)は男女ともに縮小してきています。

○「中性脂肪」「HbA1c」で異常のある人が多い

特定健康診査の結果で「中性脂肪」「HbA1c」の値が高くなっている人の割合が、男女ともに高いです。

○脳血管疾患による死亡割合が高い

主な死因における標準化死亡比は宮城県を100とした場合、男性が127.1、女性が135.6と特に脳血管疾患で値が高くなっています。

【基本的な方向】

町民がいつまでも健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向けて、ひとりひとりの生涯を通じた健康づくりを促すとともに、地域における健康づくり環境を整え、質を向上させることにより、健康寿命の延伸を図ります。

そのために、

①生活習慣の改善 ②生活習慣病の発症予防・重症化予防 ③地域ぐるみの健康づくりの推進 ④ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり に取り組みます。

さらに、取組の重点年度を設定し、計画的に健康づくりを推進していきます。

令和7年度は、

①栄養・食生活 ②休養・睡眠 ③自然に健康になれる環境づくり に重点的に取り組みます。

計画の詳細については、右記の二次元コードからホームページをご参照ください。

